

お年玉袋 - へび

来年のえと・蛇 お年玉袋を発売 マルアイ

紙製品・化成品製造のマルアイ(市川三郷町市川大門、村松道哉社長)は、来年のえと・蛇をデザインしたお年玉袋を発売した。写真。同社によると、新型コロナウイルスの影響緩和でお年玉袋の需要は高まっているといい、担当者は「お年玉を通じたコミュニケーションを楽しんでほしい」と話している。



る。

同社によると、発売した「金箔お年玉」(330円)はとぐろを巻いた白い蛇で鏡餅を横した姿をデザイン。表面に金箔を施すなど「正月らしい華やかで縁起の良いイメージ」(同社)に仕上げた。「お年玉 干支柄」(132円)は蛇がしめ縄や鏡餅といった正月飾りに巻き付く姿で、「かわいらしさ」とユニークさを意識したデザインとなっている。

同社が昨年販売したお年玉袋の数は、コロナ前の2019年比で98%まで回復したという。担当者は「コロナの5類移行を受け、年末年始を対面で過ごす機会が増えたことが要因ではないか」と分析している。

お年玉袋は、同社のオンラインショップで注文を受け付けている他、全国の文具店でも順次、販売を始める。

〈山本就己〉